



 公益財団法人トヨタ財団

2018 年度国内助成プログラム

未来の担い手と創造する持続可能なコミュニティ
—地域に開かれた仕事づくりを通じて—

カテゴリー A. しらべる助成
B. そだてる助成

応募期間 9月1日（土）—10月10日（水）

応募相談
受付中





プログラム趣旨

2018 年度国内助成プログラムは、昨年度に引き続き「未来の担い手と創造する持続可能なコミュニティ 地域に開かれた仕事づくりを通じて」を基本テーマとします。プロジェクト実施に向けた調査活動の支援を目的とする「しらべる助成」と、プロジェクト支援（事業支援）を目的とする「そだてる助成」の二つの領域を設定します。

私たちの暮らしの場である地域社会は、地方・大都市圏を問わず、高齢化や人口変動に伴いコミュニティの持続可能性の危機への対応が急務となっています。また、国籍、文化、ライフスタイルなど、多様な背景を持つ人々が、安心してともに暮らすことのできる地域の実現も、ますます重要となっています。こうした社会状況下において、持続可能な地域コミュニティの実現のためには、ひとりひとりが役割（仕事）を持ち、その力を課題解決に活かす仕組みが多様に育まれることが必要と考えます。

本プログラムは、地域課題の解決に向け、多様な地域内外の方々の参加や関わりを促進する“仕組みづくり”や“仕事（しごと）づくり”を通じ、地域の担い手となる人材の育成を目指す一連の活動に対し支援を行います。

具体的には下記の視点を持ったプロジェクトを対象とします。

- ▶地域性：暮らしの場、働く場である「地域」を対象とした取り組み
※ただし行政区での制限は設定していません。
- ▶次世代育成：次世代の参加や育成を意識している取り組み
- ▶協働：（課題の解決に向けて）多様な関係者との協働を意識している取り組み
- ▶参加性：プロセスに多様な市民が参加・参画し、役割を發揮できる仕組みがある。もしくは作ろうとしている取り組み
- ▶当事者性：支援、被支援の関係性を超えた関係構築、多様な人々の当事者性を育もうとしている取り組み
- ▶課題解決指向：明確な課題把握と解決に向けた具体的な目標設定のある取り組み

プロジェクトを通じ、現在の社会の在り方を問い直すとともに、新しい価値の創出につながる仕組みをつくり、それぞれの地域に適した、持続可能で人々が幸せを実感できるコミュニティが各地で築かれることを期待しています。

<トヨタ財団について>

トヨタ財団は、「人間のより一層の幸せを目指し、将来の福祉社会の発展に資する」ことを基本理念とする助成財団です。生活・自然環境、社会福祉、教育・文化を主要な領域として、多様な領域における課題を的確にとらえるため、これらに関する研究ならびに事業に助成を行っています。財団の活動では、その初期より「先見性」、「市民性」、「国際性」という3つの方向性を指標として、これらに沿って助成を実施することを基本的な考え方としてきました





プログラムの概要と応募方法

◆ 助成のカテゴリー（詳細は P3、P4 をご覧ください）

A：しらべる助成

課題の解決のためには、その課題をとりあげた背景や要因など問題構造を把握することが重要です。しらべる助成では、取り組む課題の現状把握やその課題が発生している背景や要因の把握など、事業実施に向けて必要な調査、戦略立案、関係構築、パイロット事業の実施などを目的としたプロジェクトへの助成を実施します。

B：そだてる助成

課題の問題構造（背景や要因）を踏まえたうえで、その課題の解決に向けて有効と考える事業を、必要と思われる仲間、組織、関係者とともに立ち上げて実施する取り組み、ならびにそうした事業の担い手となる人材の参加を促進する仕組みづくりを通じて、人材の育成を目指すプロジェクトへの助成を実施します。

◆ 助成総額 1 億円

◆ 応募期間 2018 年 9 月 1 日 9:00 ~ 10 月 10 日 15:00

◆ 応募方法

以下のステップに基づき、ウェブサイトよりご応募ください。

※メール・郵送での提出はお受付できませんので、ご注意ください。

| | |
|--------|---|
| Step 1 | ウェブサイト【応募の受付はこちら】より Web 応募ページに進み、応募エントリー（名前、E メールアドレス、パスワード） |
| Step 2 | 応募エントリー登録完了 応募エントリー時にご登録の E メールアドレス宛てに応募者専用ページ URL を通知 |
| Step 3 | 応募者専用ページにログインし、基本情報シート（Excel）、企画書（Word）をダウンロード |
| Step 4 | 基本情報ならびに企画書の各項目を記入 <u>（企画内容の具体的のご相談については、10 月 3 日までとさせていただきます）</u> |
| Step 5 | 応募者専用ページから基本情報シートならびに企画書を送信（アップロード） |
| Step 6 | 応募完了 応募エントリー時にご登録の E メールアドレス宛てに、応募完了の旨を通知 |

助成の内容



A：しらべる助成

| | |
|---------------|---|
| 助成期間 | 2019年4月1日から2020年3月31日（1年間） |
| 助成金額 | 上限100万円 |
| 対象となる組織 | 運営の中心となる組織の法人格の有無・種類は問いません。 ※プロジェクト実施に必要と思われる個人・組織・関係者で構成された実施チームに対して助成します ただし、実施メンバーの中には40代迄の若者の参加があることが要件となります（最低1名）。 |
| 対象となる活動 | <p>➤「しらべる助成」の趣旨に合致する以下の取り組みを対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の現状やその課題が起きている問題構造（背景・要因など）の把握をめざす調査活動 ・成果のとりまとめ、発信（冊子の作成、報告会の実施など※1） <p>※1：調査対象者・協力者への報告は必須となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（事業化に向けた）ステークホルダーとの関係構築※2 ・（本格的な事業化に向けた）パイロット事業の実施と検証※3 <p>※1・2・3のみの実施は対象となりません。</p> |
| プロジェクトに期待すること | <ul style="list-style-type: none"> ・課題が起きている問題構造（背景・要因）の把握につながる事 ・（問題構造に基づき）課題の解決に向けたアクションプランにつながる事 ・調査結果を地域内外の関係者と共有し、事業実施に向けた関係構築につなげる事 ・必要に応じ調査・分析手法について助言・アドバイスを行う協力者・専門家の参加がある事 |
| 対象となる費用 | <ul style="list-style-type: none"> ・調査活動に要する経費（調査を実施する組織・個人の人件費含む） ・調査手法のアドバイスを行う協力者・専門家に支払う謝金・交通費 ・調査のとりまとめや発信にかかる経費（印刷費や報告会開催費など） ・ステークホルダーとの関係構築に要する経費（会議費など） ・パイロット事業の実施と検証に要する諸経費 など <p>※ 詳細は企画書をご覧ください。</p> |
| 選考基準 | <p>【調査仮説の妥当性】 調査で明らかにしようとしている仮説が説得的であるか</p> <p>【調査手法の妥当性】 調査仮説に対して、調査手法が適切であるか</p> <p>【調査の実現可能性】 調査体制、スケジュール、予算が適切であるか</p> <p>【事業化の実現可能性】 調査結果を踏まえ、事業化への道筋が具体的に描けているか</p> |
| 助成期間終了後の展開 | 2018年度「しらべる助成」の助成期間中（2019年9月）に調査結果を踏まえて企画されたプロジェクトを、翌年度の「そだてる助成」へ応募いただけます。その場合は、応募までにある程度、調査等の活動が完了していることが必要です。また、応募される際は、事前に事務局へ相談することが必須となりますのでご留意ください。 |



B：そだてる助成

| | |
|---------------|---|
| 助成期間 | 2019年4月1日～2021年3月31日まで（2年間） |
| 助成金額 | 実施内容と申請額に基づき、選考委員会で決定された金額 ※過去3年間の実績平均 1プロジェクトあたり519万円/2年 |
| 対象となる組織 | 運営の中心となる組織の法人格の有無・種類は問いません。 ※課題解決に必要と思われる個人・組織・関係者で構成された実施チームに対して助成します。 ただし、実施メンバーの中に40代迄の若者の参加があることが要件となります（最低1名）。 |
| 対象となるプロジェクト | <p>▶「そだてる助成」の趣旨に合致し、次世代の参加や育成が意識されている以下の要素を含む取り組みを対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の多様な担い手の地域・社会参加、役割発揮を促進する仕組み・仕事づくり ・地域の多様な担い手と地域課題の解決に取り組む仕組み・仕事づくり |
| プロジェクトに期待すること | <ul style="list-style-type: none"> ・課題の問題構造（背景・要因）を踏まえた計画となっていること ・実施内容に応じ、地域内外の多様な主体の連携・協力を視野に入れた取り組みであること ・活動成果をわかりやすくまとめ、広く発信・共有すること（情報発信） ・情報発信を通じ、多様な協力者や仲間の確保につながる ・必要に応じ、伴走者（企画立案・進捗状況の確認、相談・連携のコーディネート・組織基盤強化の支援）として中間支援組織（NPO支援センター、コミュニティ財団など）の参加があること |
| 対象となる費用 | <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの実施に要する諸経費（組織の人件費含む） ・伴走者や専門家に支払う謝金・交通費 ・成果のとりまとめや発信にかかる経費（印刷費や報告会開催費など） ・プロジェクトの推進や助成期間終了後の継続に向けたプロジェクトメンバーの能力向上に係る一連の費用（全体予算の10%程度、事業費への転用はできません） <p>※ 詳細は企画書をご覧ください。</p> |
| 選考基準 | <p>【事業の妥当性】 地域課題の問題構造の把握が十分に行われており、実施内容が解決したい課題に対して妥当であるか</p> <p>【実現可能性】 推進体制、ネットワーク、スケジュール、予算が適切か、成果目標が明確</p> <p>【継続性】 助成終了後の計画が具体的に想定されているか</p> <p>【波及効果】 プロジェクトの成果が地域を超えて課題の解決につながることを期待できるか</p> <p>【運動性・変革性】 社会の新しい価値の創造、仕組みづくりに寄与するか</p> |



選考から助成決定まで

| | | |
|-----------------|-------------------------------------|---|
| 9月1日 ～10月10日 | 応募期間 | P2の手順に沿って、WEB サイトよりご応募ください。 |
| 10月～12月 | 書類審査 | 「国内助成プログラム選考委員会」（選考委員長：萩原なつ子・日本NPOセンター代表理事以下、研究者・NPO関係者など計6名）にて書類審査 |
| 1月 | ヒアリング | 書類審査の結果、選考委員会での選考対象となった候補者に対して必要に応じ事務局より電話・メール等にてヒアリング |
| 2月 | 選考委員会 | 書類とヒアリング結果に基づき「選考委員会」にて助成対象候補決定 |
| 2月 | ワークショップ (理事会に向けた企画 のブラッシュアップ) | 助成対象候補となった団体を対象としたワークショップ。選考委員会で出された意見等も踏まえ、企画のブラッシュアップ（そだてる：事業戦略の策定、成果目標の確定など、しらべる：調査設計に関する研修）を行う。 |
| 3月 | 理事会 | 当財団理事会にて助成対象プロジェクトの決定 |
| 3月末 | 選考結果通知 | 応募エントリー時に、ご登録頂いたEメールアドレス宛に採否を通知。 |
| 4月 | 助成金贈呈式 | 都内にて助成金贈呈式を開催 |
| 4月上旬 | 助成金支払 | しらべる助成：2019年4月上旬に送金 そだてる助成：2019年4月上旬、10月下旬、2020年4月下旬、10月下旬（予定）の4回に分割して送金 |

※ワークショップ、贈呈式等の参加にあたっては1名分の旅費を補助します。

◆ 助成金額

選考の際には、支出計画の妥当性についても審査が行われます。助成の対象となった場合にも、助成金額は、応募金額より増額、減額されることがあります。

◆ 自己資金、他機関からの補助金・助成金等について

自己資金負担率について指定はありませんが、助成期間終了後どのように継続するかについては、選考基準の一つとなります。

◆ 団体情報

選考の際「公益事業コミュニティサイト CANPAN」※の団体情報を参考資料といたします。未登録の場合は、選考の過程でCANPANの団体情報（情報開示レベル★4つ）と同程度の資料の提出をお願いする場合がございます。

※CANPAN（かんぱん）とは、特定非営利活動法人CANPANセンターが提供する公益活動団体データベースです。

法人格の有無・種類にかかわらず登録することができます（無料）。<http://fields.canpan.info/>

◆ 選考結果

採否については、応募エントリー時にご登録いただいた E メールアドレスにお送りします。2019年3月末までに採否についての通知が届かない場合は、お手数ですが当財団までお問い合わせください。なお、採否の理由などに関するお問い合わせには一切応じかねます。応募エントリー時にご登録頂いた E メールアドレスに変更がありましたら、速やかに当財団までお知らせください。

その他

◆ 報告書類の提出

助成期間中は、所定の期日までに「月報」、「経過報告書」、「実施報告書」※、「会計報告」（1万円以上の領収書添付）を提出していただきます。そのほか、必要に応じてプロジェクトに関わる書類のご提出をお願いすることがあります。

※実施報告書は、冊子にまとめます。これまでに発行した冊子がウェブサイトに掲載されていますのでご関心があればご覧ください。

◆ ヒアリング

当財団のプログラム・オフィサーが必要に応じ、助成期間中にプロジェクト実施地域を訪問し、プロジェクトの進捗状況や結果についてヒアリングを行います。

◆ 助成期間終了後

過去に「国内助成プログラム（旧：地域社会プログラム）」の助成を受けたことがある団体を対象に、プロジェクトの成果を社会に広く発信し、社会の仕組みや価値観を変えることを目的として実施する政策提言・社会提案に対して支援を行う助成枠「発信・提言助成」を設けています。過去の助成対象者に募集要項と企画書をお送りします。

◆ トヨタ NPO カレッジ「カイケツ」

助成対象となられた方は、トヨタ自動車(株)等の協力を得て実施しているトヨタ NPO カレッジ「カイケツ」を優先的に受講することができます。

◆ 応募にあたっての注意

- ・ 応募に当たっては、基本情報ならびに企画書のみを送信してください（添付資料は不要です）。
- ・ 応募の締切時間の直前は、回線が混雑し送信できない恐れがありますのでお早めにご応募ください。
- ・ 送信された基本情報ならびに企画書の差し替えは受け付けられません。

送信されたデータは、選考結果のお知らせまで、お手元に確実に保存してください。助成対象プロジェクトについて、団体名、代表者氏名、所在地、実施内容、助成金額を公表させていただきます。【個人情報の取り扱い】に則り、応募時にご入力頂いた基本情報ならびに企画書の個人情報は、当財団の選考に関わる業務にのみ使用し、それ以外には使用致しません。



応募にあたってご相談がございましたら下記までお気軽にお問い合わせください。

.....
お問い合わせ先

〒163-0437

東京都新宿区西新宿 2 丁目 1 番 1 号 新宿三井ビル 37 階

公益財団法人トヨタ財団 国内助成プログラム担当：喜田、鷺澤、石井

TEL 03-3344-1701 FAX 03-3342-6911

Email gp4ca@toyotafound.or.jp

URL <http://www.toyotafound.or.jp/>
.....

